

令和7年度札幌市保育人材イメージアップ事業 質問及び回答一覧

令和7年8月20日

質問	回答
事業の対象について 事業名やシンボルマーク、キービジュアル、マスコットキャラクターは保育としておりますが、業務内容には幼稚園教諭も含んでおります。保育士をメインとして扱うのか、保育士と幼稚園教諭を同等に扱うのかなどありましたらお教えてください。	保育士と幼稚園教諭は同等の取り扱いとしてください。
企画提案使用書4の(1) HPアドレスは、仕様書の http://www2.city.sapporo.jp/welikehoiku/ ではなく、こちらを参照すればよろしいですね。 https://www4.city.sapporo.jp/welikehoiku/	https://www4.city.sapporo.jp/welikehoiku/をご参照ください。更新作業を行う際は、更新ページについて、改めて指示をいたします。
企画提案仕様書4の(2) 保育士・幼稚園教諭の魅力を感じてもらうための制作物の作成・周知について、 ア 認可保育施設等で配架するパンフレット イ 指定保育士養成施設で配架するパンフレット この2つは、全く別の物を制作するイメージでしょうか？ 内容によっては同じものでもよろしいのでしょうか？	提案内容は問いませんが、認可保育施設等（中高生向け）、指定保育士養成施設（高校生とその保護者向け）で配架することを踏まえ、保育士・幼稚園教諭の魅力を感じてもらうことができる制作物をご提案ください。
令和6年度の実績について 昨年度のレバンガ北海道試合会場でのブース出展と、モユクサッポロでのトークセッションイベントの参加人数と、得られた効果をお教えてください。	レバンガ北海道でのブース出展（来場者5,722名、リーフレット5,000部配布） トークセッション（会場エリア内覧者125名、リーフレット710部配布） 多くの参加者がおり、次世代の保育人材育成に向けた施策として、札幌市の取り組みや本事業の認知拡大に繋がり、一定の成果を収めたと考える。